し嘔氣を生ぜず本膠囊を製するには二十%フォルマリン中に數時間膠囊を浸漬し乾燥すかく處理したるものは脆弱にして稍柔撓性なれども填充に差支なし此膠囊は酸性劑に不溶にしてアメーバ赤痢に用ゐる好成績を得べし (Pharm. Journ. Nov. 1914. 701)

雜 録

○千九百十三年新藥年報 (承前)

Ferdinand Flury: Jahresbericht über die neuen Arzneimittel des Jahres 1913.
Zeitschrift für angewandte Chemie 7. Juli 1914. Nr. 54. S. 410-422.

山 科 樵 作 譯

砒素化合物、防腐劑及消毒劑

砒素含有の新劑にありては尙引續きサルバルサン及チオサルバルサンを第一とすべく最近之れに對し駁爭ありたれども依然として將來を有すべし此比類なき効果に對し發現したる多くの暗面は兎に角消滅すべし此有望なる方面に對する孜孜たる研究は更に水銀、銅、金、セレン等を砒素劑中に配合せしめ尙益々改良し得べきことを確實に期待し得べし砒素劑の新種たる所謂リポイド砒素化合物の例としては E. Fischer により製造せられ G. Kleinperer により治療界に提供されたる Elberfeld 色素會社の Elarson あり本品はクロールアルセノベヘノール酸ストロンチウムにして砒素約十三%クロール六%を含有す其特徴として腸に於て初めて吸收著多なること、持續に堪ゆること耐

久なること及用量簡便均等なること等を挙げたり

近時發表したる業績及多數の特許は有機砒素化合物方面に於ける化學研究界及工業界の努力を證せり即ち酸化砒素、亞クロール砒素或は第一アルシン類より芳香族砒素化合物の製法 (D.R.P. 254187) formaldehydsulfoxylat を用ゐる 3,3'-diamino-4,4'-dioxo-arsenobenzol の中性水溶性の誘導體の製法 (D. R.P. 260235, 264014, 263460) リサリベン酸プロタルベン酸スクレイン酸或はカゼインを籍りて前記アルセノベンツォール誘導體の水溶性耐久化合物の製法 (D.R.P. 261542) 更に耐久性固形體の同化合物アルカリ鹽の製法 (D. R. P. 264266) 尙進んで芳香族アルシン酸のニトロ誘導體の製法 (D.R.P. 261643, 256343, 267307, 366944) アミノアルシン酸よりニトロ誘導體の製法 (P. Karrer, Frankfurt a.M.D.R.P. 256963) 相當するニトロ誘導體より還元により aminooxyarylarsinsäure 及其還元體の製法 (P. Karrer, Frankfurt a.M.D.R.P. Ann. K. 51745) チアソ化合物より芳香族砒素化合物の製法 (Heinrich Bart, Bad Dürkheim D.R.P. 254345, 254092, 267082) 亞砒酸アルカリ及ヂアツオベンツォールアルカリよりフェニールアルシン酸の製法 (D.R. P. 264924) ありヨード含有のアルセノベンツォール誘導體 (Carl Schindler, Berlin, D.R.P. 260527) 及び dioxydiaminoarsenobenzolchlorhydrat より製す砒素或は燐含有の脂肪酸 (Felix Heinemann Berlin, D.R.P. 257641) は砒素及燐の三ハロゲン體とアセチレン列の酸とを熱することにより得べし。中古に於て醫界に勢力を有したるアンチモン含有劑は近來有機化合物の形にて現出せり原料製品につき次の特許あり芳香族スチベン酸の製法 (Heyden, D.R. P. 254421) フェニールスチベン酸及其誘導體のニトロ成績體の製法 (Heyden D.R.P. Ann. C. 21422) 中性可溶性芳香族スチベン酸アルカリ鹽の製法 (D.R.P. 267083) アンチモン及グリコーン酸の製法 (Chem. Werk vorm B. Byk, Lebnitz

b. Berlin, D.R.P. 263455) 等あり

Trioxidin は二酸化マンチモンの三十%乳劑にして睡眠病に用ゐる Antihelmin は都筑氏によれば Bitartrato-kalium-Ammonium-Antimonoxyd にして徹毒劑なり

新特許の一團に治療的希望なるセレン化合物の製法あり此者は特に癌治療に使用せらるゝなりセレン及ナルウル含有色素或はセレン含有色素の製法(A. von Wassermann, Berlin u. El. von Wassermann, Frankfurt a. M. D.R. P. 261556 u. 261793) に於て前者はフタレイン列色素より後者はニトロンヂメチールアニリン誘導體より製す亞セレン酸及ひオルトフェニルヂアミンより生成する Plaseolol のアルカリ可溶性誘導體は (Felix Heinemann, Berlin, D. R. P. 261412) 亞セレン酸或は其鹽を芳香簇オルトヂアミンの酸性誘導體に作用せしめて製す他の有機性セレン化合物 Phenazelenoniumfarbstoffe (D.R.P. 261969) はニトロセレンナチンより製し原蟲類性及バクテリア性疾病に應用す又芳香劑セレンチアン化合物の製法 (D.R.P. 255982) あり

銅は近來再び治療界に認めらるゝに至れり特にレチチン化合物の形に於て然りとす即ち軟膏にて皮膚に使用せらるゝ。Eiberfeld 色素製造所ノ鹽化銅及レチチンよりの製品の如し更に進んで「Neocutyl」はレチチンに對し珪酸銅の作用により製せらるゝなり本品は軟膏及丸劑形にて外部結核、皮膚、癌腫等に用ゐる Ducatie 實驗所 (Paris) の Cuprase は膠様水酸化銅にして癌病に泥劑として用ゐる Salvarsankupfer は銅を砒素基に配合せしめたる複金屬化合物にして梅毒、マラリア、赤痢、アメーバ及癩病等に用ゐる

Psal 法による銀劑には Anton Dering 製にしてウロトロピン液を用ゐて得らるゝ水溶性蛋白銀化合物 Argaldin (D.R.P. 266655) ありグルチンの分解物の存在の下に蟻酸を以て銀鹽の還元により

成生すべき安定なる膠様物は (Chr. kelber u. Anton Schwarz (Erlangen) の特許法 (D.R.P. 260 849) なりウロトロピンと銀鹽との新複化合物は L. Vanino u. P. Sachs の製品なり炭化水銀化合物の可溶性銀鹽 (D.R.P. 261875) は炭化水銀化合物の銀鹽を或炭化窒素化合物のアルカリ鹽と作用せしめて製す本品は治療上價值ある物質にして稀薄食鹽溶液にて沈澱を生ずることなく膠様の鹽化銀を生ず

蛋白質及其分解物と酸化銀との化合物に Lüdy & Co (Burgdorf) 製の Salargyl あり本品は三十%の銀を含み感光性並に引濕性ならず又滅菌するところを得他の銀劑に H. Rosenberg (Charlottenburg) 製の Fulmargin あり電解により得たる膠様物なり Jablonski (Breslau) 製の Uranoblen はウランと銀との化合物にして強螢光性の溶液なり本品は強き深浸性を特徴とし淋菌の撲滅に使用す Merck 製の Methylenblausilber は水に溶解し膠様となり殺菌力強し同社製の Choleval は保膠劑としてコレン酸ナトリウムを添加したる膠様銀液なり。Richer 製の新水銀劑 Kontraluesin は極めて微細に分散したる水銀(膠様?)の外にメゾドール、ヒニン及サリチル酸を含有しアンプルにて販賣せられ微毒治療法に用ふ Liposol は特法により得たる油中に金屬水銀を膠様形に分布したるものにして Fehling & Co (Berlin-Charlottenburg) の製品なり Providol 會社 (Berlin) の Providol 石鹼は水銀含有の石鹼にして製造者の説明によれば一% Dioxymereuriphenolatium を含有す L. Oestreicher (Berlin) 製の Hygralon は椰子油より製したる水銀カリ石鹼にして水銀三十%を含み其無色なるため特に塗擦療法に適す Kolle u. Roethermund 兩氏の推奨せる Argulan は dimethylphenylpyrazolonequeksilber として水銀四十六%以上を含み微毒に用ひザクセン血清製造所 (Dresden) の製品なり Bayer & Co 製の Merusan は腸中にて初めて分解すべき新水銀蛋白化合物にし

て微毒及淋病に用ふ

尙水銀劑の製法に次の特許あり核中水銀により置換されたるアリルオキシ脂肪酸及其鹽類の製法 (D.R.P. 261229) 核中水銀嵌入のアリルオキシ脂肪酸の可溶性化體の製法 (D.R.P. 261267) 芳香簇オキシ脂肪酸の核嵌入誘導體の製法 (Heyden. D.R.P. 255030) 核中水銀嵌入のアミノ安息香酸誘導體の製法 (Verein. Chemische Werke, A. G. Charlottenburg, D. R. P. Ann. V. 10753 und D.R.P. 264388) 耐久性アミドスルフォ酸の水溶性及アルカリ水銀化化體の製法 (K. Hofmann, Charlottenburg, D.R.P. 261460) ザンネロン列の水銀化化體の製法 (Leon Givaudan, Genf und Emil Scheelin, Basel, D.R.P. 261081, 261082) 普通の石灰含有水溶性金屬により作用せられざるチアミン水銀酒石酸及アルカリよりの水銀鹽劑の製法 (Max Emmel, München D.R.P. 257315) 等あり Dr. R. u. Dr. O. Weil (Frankfurt) 兩氏はオキシチアミン水銀銨を Hycian と稱し販賣せり。Toxynon は殆んど五十%の水銀を有する Acetaminomercuri-benzoosäures Natrium として食鹽溶液或は稀薄ピペラチン液に溶解し微毒の靜脈注射に用ふ聯合化學製造所 (Charlottenburg) の製品なりサルバルサンを模倣したる dioxylaminomercuribenzoat は佛國に於て製造せられ Fournier 及 Vial 兩氏により微毒劑として推奨せられたり

醋酸礬土水、アルゾル及他のアルミニウム化合物の代用品として近來 Perutz 氏の案出による C. H. Boehringer Söhne 社より發賣せる乳酸アルミニウムあり又 Kunheim 會社 (Berlin) の Ceolat-präparate あり本品は脂肪酸列のセリウム鹽を含有し Ceolat 末 (ステアリン酸セリウム Ceolat 軟膏 (ステアリン酸セリウム三十%) Ceolat 液 (十%中性醋酸セリウム液) 等あり

ロダンのアルミニウム及カルチウム化合物は Laboschin (Berlin) の防腐性煉齒磨 Basacidon の主成

分なり此外主として其作用をハロゲンに歸すべき種々の消毒劑あり近來の研究によればハロゲンエチレンは優秀なる消毒性を有し安定にして引火性ならずクロロフォルムに比し揮發性少く又毒性及麻醉性微弱なり本品は Roche の特許 (D.R.P. 263382) にして消毒劑として實用せり

新形態の防腐劑に膠様物中ハロゲンの固狀溶液ありグラチン中に撒布せるものにしてハロゲンは化學的結合せるものにあらざる而して防腐作用を呈すと稱せりグラチン中ハロゲンの固狀溶液の製法は Julius Herhold (Monzingen) の特許 (D. R. P. 258612) なり此屬に類似にして Siegfried Weisbein (Charlottenburg) の特許法 (D.R.P. 260757) により製せられたる弗素膠化合物は防腐劑よりも體中發酵作用の好影響物として適用し皮下及靜脈内注射を行ふ高濃度に於て防腐作用を呈する物質の多數は極めて少量に於て酵母發酵等の如き或種の發酵作用を明かに促進す

本年度に於ても二三の新ヨード劑あり L. Oestreich (Berlin) 製の Testijodyl はヨード鐵及血液蛋白よりなり Wolf (Elberfeld) 製の Jodmetaferrin はメタ燐酸ヨード鐵カセオーゼにしてヨードの結合特に強く従つて其析出甚だ緩除なりと稱す Knoll 社の Jodtiferin はトリフェリンの含ヨード體にしてパラスクレイン酸、十五%の鐵及八五%のヨードよりなり其製法は特許 (D.R.P. 258297) なり

ヨード丁幾の代用品に Bachem 氏の案出にして B. Hadra (Berlin) 製の Jodojn 錠あり本品は二錠を一組とし一錠は亞硝酸曹達及ヨードナトリウムより他の一錠は酒石酸よりなり兩者を水中に投ずるときはヨードを遊離し含量正確なるヨード水を製し得べし La Zyma 化學製造所 (St. Ludwig) 製の Jodoglobulin はチロシンのヨード誘導體なり Roche の Farinsäuredijodid の製法 (D.R.P. 261211) は既に永く治療に使用せらるる Lipojodin (Aethyl ester der Dijodbrassidinsäure) の如き脂

肪様ヨード化合物に關聯す

其作用を酸素の遊離に基すべしものに Noris, Zahn 社 (Köln) 製の Orhizon あり過酸化水素及尿素よりの固形耐久製品なり Gedeon Richter (Budapest) 製の Hyperol (D.R.P.259826) も同様の集成を有す E. Merck の Parhydit も類似品にして過酸化水素及尿素の外にアチール化したるオキシアミノ酸の極めて少量を含有し三十四—三十五%の過酸化水素を含める溶解し易き白色安定の結晶末なり散布粉末及溶液用錠劑あり

過マンガン酸鹽及過酸化鹽(過硼酸鹽過磷酸鹽等)より醫療用酸素の發生法は H. Byk 社 (Lehnitz) の特許 (D.R.P.257535) に屬す同社製品過硼酸石灰は滑石と混じ Lenkazon (Calciumperborat, Byk "cuna talco") なる名稱により消毒用散布末として販賣せり Ulsinnia は一種の Hydrojodoborat にして酸素並にヨードを分解す過酸化水素或は他の有効酸素含有化合物の溶液を耐久性とすべき Deutsche Gold und Silber-Scheidanstalt, vorm Rössler (Frankfurt a. M.) の特許法 (D.R.P.263243) は礬土化合物を加ふるにあり同社の他の特許 (D.R.P.263650) は Monopolseife の如き石鹼の微量を添加するなり酸素を分解すべき物質を使用せる酸素浴に關する F. Schalenkamp (Crombach) の特許法 (D.R.P.258880) は動物或は植物器關より特種の方法にて得べき觸媒を使用せり分離したる酵素は優秀にして此等の乾燥製劑は其觸媒力を殆ど全く減失せずと稱す

過酸化水素及ヘキサメチレントラアミンよりなる結晶性複合體は有効酸素三十五—四十%の多量を含蓄し強消毒性を有す Diamalt 社 (München) の特許 (D.R.P.26411) なら J.D. Friedel 社 (Berlin-Brandenburg) の Neohexal は無結晶性水に溶け易き粉末にして sekundäres sulfosalicylsäures Hexamethylenetetramin なる (Hexal は sulfosalicylsäures Hexamethylenetetramin $C_6H_{12}N_4SO_2H.C_6H_5.OH$.)

(COOH) 尙茲に屬すべきものに Dr. Karl Heinrich Schmitz-(Brestan) 製のロダメンチール及ヘキサメチレンテトラアミンよりの複合體 (D.R.P. 266788) あり Sahir 藥化學研究所 (München) 製の Stoman はフォルマシント等に酷似品にして其製造はフォルムアルデヒド及麥芽越幾斯よりの乾燥粉末の特許法 (D.R.P. 255671) によるが如し Jasper (Bernau) の Mentasept は口腔鼻孔の消毒劑なりフォルムアルデヒド砂糖酒石酸及芳香物よりなれり

Methylolcarbazol はカルバツオールにフォルマリンの作用により生ずる製品にして他の反應物により再び兩者に分解す此製造は Martin Lange (Frankfurt a. M.) の特許 (D.R.P. 256757) にして強消毒性を要するに適用す Maschke 藥工學研究所 (Berlin) 製の Dreiform はフォルムアルデヒド硅酸アルミニウムにして創傷治療に用ふる白色にして微にフォルマリン臭を有する微粉末なり

眞空に於て水蒸氣及フォルマリン蒸氣の混合物による新消毒法は Deutschen Desinfektionszentrale (Berlin) の特許 (D.R.P. Ann. D. 27588) を參照せよ

Kurt Rülke (Berlin) 製の消毒石鹼はテルペン油及類似のピネン含有油より製せる特許品 (D.R.P. 254129) なり尙茲に屬すべき特許に S. Diesser (Zürich) 及 K. Wohrab (Zürich) の權利たるチオ硫酸鹽と油脂とを熱して得べき無水の化學的結合硫黃含有石鹼樣製品 (D.R.P. 258655) あり無害の混入物或は防腐性物を含める流動石鹼膠は皮膚科用に適すセレン及テルウル化合物を含める石鹼は治療上有用にして特に癌治療に使用す本品は H. Klopstock (Berlin) の特許 (D.R.P. 260916) にして護謨不飽和油脂をハロゲン化セレン或はテルウルを處理したるものを鹼化して製す錠劑形の醫療用石鹼の製法は M. Castenholz (Köln a. Rh.) の特許 (D.R.P. 265537) なり Marguart (Benel a.

Rh.) 製の Festalkol は手の新消毒剤にして基石鹼二十%酒精八十%よりなり糊狀稠度にて特種の用法により洗擦す

Kade (Berlin) 製 Seabosan は白色の碎け易きサリチルニコチン石鹼にしてサリチル酸十%を含有し疥癬劑として従來品に比し多くの特長を有す其無色無臭なるために搬動療法に推奨せらる。新式フェノール含有消毒劑 Grotan は此等フェノール類のナトリウム鹽とパラクロールメタクレゾールとの複合體 Pyrothen はクレゾール、硫酸及亞硫酸の配合 Phosol は木テール劑なり

テール劑に多くの新特許あり例へば H. Nördlinger (Flörsheim) の特許 (D.R.P. 259665) はテール油の防腐性殺虫殺菌作用の改良にして之れにナフタリン列及アントラツエン列の高級フェノール類を加ふるにあり同社の他の特許 (D.R.P. 257848) はテール或はテール油よりの含窒鹽基を水素にて還元して酸類にて處理し消毒劑として使用するなりかくして製したるものは従來植物害虫驅除に重要視せらるニコチンの代用をなし得るなりスルフォ酸殘基をベンツォール核に有せずしてグワヤコールに其同族體のアルキル屬中に嵌入せるグワヤコール誘導體の新屬は Albert Wolff (Hamburg) の特許 (D.R.P. 258478) にして Brenzatechinätheroxypropansulfosäure のアルカリ鹽之れなり E. Trenka (Wien) 製の Calcion はメソオズワヤコール酸カリ及 Calcium glycerolacto phosphoricum 並に麥芽越幾斯よりなれり Weimeyer の Belarin はグワヤコール含利別なり

内用消毒特に肺病に對し Westlaboratorium (Berlin) 製の Yatren 及び同社の説明によればヨード硫黃及ヒノリンよりなり Aufrecht 氏の分析によれば Griserin (Jodoxychinolinsulfosäure) に類似せるが如し明かにヤートレンに類似せる Tryen は Parajodorthosulfooxycyclohexatrienpyridin なりと稱

せり本品は粉末、ガーゼ、タンポン等の形にて創傷治療及婦人科に使用する
ホモブレンツカタヒンのメチール化によりクレゾールの製法は Fahlberg, List 社 (Salbke-Wester-
hüsen) の特許に属す

治療的有用なる Scharlachrot, Pellidol, Azodol 属のアツオ色素化合物は R. J. Zink (Dresden) の
特許 (D. R. P. 262476) にしてパラアミノ或はパラオキシ安息香酸アルキルエステルをチアツオ化
アミノアツオトルオールとより製し得べし本品は創傷及皮膚病特に肉芽促進に使用する

神経系劑及營養劑

新神経系劑新營養劑及之れに類似の製品は極めて多數なり Milchmalz は全乳及マールチールよりの
乾燥劑 Milchin は脱脂乳乳糖及磷酸鹽よりの製品 Doppelmilch-phosphor-Kraftnahrung COG はグ
リセリン磷酸曹達を加へたる脱脂乳粉 Fricolcal は全乳より得たる第三磷酸カルチウム蛋白質化合
體にして W. Walz 社 (Elberfeld) の特許 (D. R. P. 253839) なり C. A. F. Kahlbaum の Prolacta
は一部分麥芽に變ぜる大麥、脱脂乳及有機的化合せる鹽類よりなり Roche 製の Larosan はカゼ
インカルチウム Palylactol は蛋白鐵麥芽糖乳糖及他の含水炭素の混合物にして乳液分泌の増進に
使用す又 A. Jolles (Wien) の特許 (D. R. P. 265209) に係る醫藥用飲料は乳清及乳清製造残渣よ
りなれりケフ#ール及ヨーグルトに類似したるものにスカンデナビヤ製の Taette ありアルコホル
酸酵と同時に乳酸酸酵を行ひて製造す Beiken (Berlin) Intestiermin 及 Intestifirm はヨーグルト及
類似飲料による純粹培養物なり婦人營養劑 Gynosan は婦人乳中の鹽酸鹽を含有す
脚氣に對する治療劑 Antiberiberin は都筑甚之助氏の特許 (D. R. P. 266211) にして米糠酒精越幾
斯の水溶液を硫酸アムモニウムにて飽和せしめアルコホルにて振盪して得たる黑色酸性の引濕物

なり之れに對し Frank 氏の Vitamin あり同様に脚氣に適用せられ米糠或は酵母より得べきピリミジン列の結晶性物質なり近來の研究によれば米糠成分には生活上欠ぐべからざる物質(例へば Vitamin)を含有すること明なり

近來大豆より營養劑を製するに至れり F. Fhoerl 社(Harbury)製の Aguma は大豆よりの蛋白製品にして水に溶け易き佳味の微粉なり

Gadiol は新芳香性肝油劑 Upmann 製肝油乳はヨード及鐵等を添加せる肝油乳劑 Vivien の肝油越幾斯は治療的有用なる肝油成分なり鰵油等の魚油よりの不飽和脂肪酸なる Clupanodonsäure は治療上有用にして J. D. Riedel の特許(D. R. P. 266350)なり

レチチン及卵黃劑には Frank (Wiesbaden)製の Nervennahrung あり卵黃乳糖及澱粉よりなり Max Hasse 社(Berlin)製の Bromocitin はレチチン、ブROOM、砒素及鐵なり Humbolt 藥局(Berlin)製の Lecimontin はレチチン、蛋白質、砂糖、乳粉、ヘモグロビン等よりなり Danasklerose はレチチン、アルブミン、ヨードカリ及鹽酸鹽なり Lecicarnin はレチチンを含有せる肉汁 Leciharnin はレチチン、ヘモグロビン及グリセリン磷酸 Lecilacton はレチチンを含有せる乾燥乳なり

種々の用途に對し通常のレチチンの代用劑として膠樣パラチウム及水素により還元せられたる Hydrolecinin あり J. D. Riedel Berlin の特許(D. R. P. 256998)に屬す卵黃を冷時メチールアルコールにて浸出して得べきレチチンの製法は同社の特許(D. R. P. 260886)なり

Klopper 製の Materno (D. R. P. 256919)は發育せる穀芽よりの小兒營養劑 Vitamalz はバナナ粉玉蜀黍粉を含める麥芽粉 Maltyl-Maté は麥芽粉末とマテ茶との混和物なり次の製劑は名詮自稱せる如く麥芽を主成分とす即ち Maltan, Maltobanaco, Maltobion, Maltocol, Maltoferrochin, Malt-

haimose, Maltophosphit, Maltosa, Maltosapon, Maltosucco, Maltyl, Maltzym 等之れなり

其外營養劑に新肉製品あり Sargol 社 (Paris) 製の Sargol あり多量の砂糖の外に少量の脂肪、レチチン、蛋白質及鑛酸鹽等を含む Carvis は滅菌性肉汁 Carnioven は肉及卵より製せるレチチン肉煎汁 Sanguinose は血液製品なり Biozyme, Biofaex, Faexase, Fermentin, Fernocyl 等は酵母製品なり

E. Petermann (Berlin) 製の Edosana は營養劑並に清血鹽にして他の成分と共に癒瘡木脂過酸化マグネシウムを含有す

陰萎及早漏症に對する藥劑は特記すべしとなし何れも無効成分或はヨヒンビン、ムイラプアマ、タミアナ等の如き既知物質を含有す催淫藥 Rubiacithin 及 Rubiacitol は他の成分と共に Acanthavirilis を含む Virilis はヨヒンビンを含む Virilium はヨヒンビンの外にコラ及ツルネラを有し Ginsos は人參越幾斯 Ginseng は人參根末及コラ末よりなれり Triplex 製劑に三種あり脫脂乳末及ヘモグロビンよりの補血劑特にレチチン、アルブミンよりの神経性營養劑及硼砂及鑛酸鹽よりの Triplexquelle 之れなり

新營養劑に密接の關係を有する多くの特許あり Sirco 社 (Berlin) の特許 (D. R. P. 263057) たるくモグロビンの製法 Naamlouze Vennootschap Algemeene Uivinding Exploitative Matschappij (Amsterdam) の特許 (D. R. P. 260681) たる魚類よりノキスミンチン蛋白質化合物の製法 Basel の特許 (D. R. P. 254489) たるイノシット磷酸鐵の製法 E. Jacoby (Allach Oberbayer) の特許 (D. R. P. 266576) たる麥芽糖の如き含水炭素とグリセリン磷酸との可溶結晶性化合物の製法 H. Buer (Köln) の特許 (D. R. P. 261212) 及 J. D. Riedel の特許 (D. R. P. 260886) たるレチチンの製法 J. D. Riedel の特許

(D. R. P. 256998) たるヒドロレチチンの製法 Roche の特許 (D. R. P. 266522 und 264396) たるモノアミノ酸及グルタミン酸の鐵化合物の製法 Knoll 社の特許 (D. R. P. 258297) たるヨードパラスクレイン酸鐵の製法 Adolf Jolles (Wien) の特許 (D. R. P. 265209) たる乳清或は乳清製造の其他の殘渣より耐久性治療用飲料の製法等之れなり

齒科治療劑及化粧藥

齒科用麻醉劑 Kontrastinum は石炭酸及メントールの溶液 Fiant-Stuporid は Fiant 齒科劑會社 (Berlin) の製品にしてプロモフェルム中コカイン溶液よりなり局所麻醉劑 Tafe は Dr. Hannach の製品にして〇・七五%食鹽溶液にコカイン及ヨードカリを溶解したるもの Paul Roeseler 藥工學研究所 (Berlin) 製の Vallinicum は齒髓の無痛治療に使用せられクロ、フォルム酒精及丁香油の混合物なり齒牙衛生劑に次のものあり Labosehin (Berlin) 製の Basacidon は防腐性煉齒磨にしてカルチウム及アルミニウム化合物の外にロザンを含有す Leo 研究所 (Dresden) 製の Chlorodont は晒白用クリーム齒磨にしてクロール酸カリを有す齒科用充填劑及其類似品に E. Stern (Berlin) 製セメント様の適當なる物質 (D. R. P. 264299) あり通常のモリブデン酸重硅酸鹽の外にウォルフラム酸或は其鹽類を含有す Otto Neugebauer (Hannover) 製の防腐性齒科用セメント (D. R. P. 261464) は磷酸鹽セメントの外に銀鹽を含有す Scholtz & Beckmann (Berlin) 製の充齒劑 (D. R. P. Ann. Sch. 41605) は有機質よりなれる被蔽物を有せる小粒にして其被蔽物により弾力性齒牙様物質を生ず Julius Albrecht (Frankfurt a. M.) 製の特許 (D. R. P. 264956) は齒根腔の充填に適當なる消毒劑の製法にして石炭酸フォルムアルデヒド、グリセリン、(或は砂糖液)よりなれり

化粧藥は頗多あれども特記の價值を有するものなし植物性洗髮水 Ortilid は Energos 社 (München)

の製品にして稀酒精性植物浸出物 Wolf 社 (Karlsruhe) の Auxolin はカリ石鹼及蓖麻子油よりなり大廣告をなせる剝皮及脫毛劑 Livoldecomposé は To Kalon 社 (London) の製品にしてサリチル酸グリセリン、アルコールよりなれり皮膚攝生劑に巴里商會の Rammad-Ton あり皮膚皺縮防止用の擦劑にしし粘土、水、及樟腦丁幾よりなれり尙獨乙藥局の鷄卵製皮膚クリーム Elivian 及 Paul Beiersdorf (Hamburg) 製の Nivea 劑あり椰子油及米粉より固形化粧劑の製法は Sam. Kaufmann (Trier) の特許 (D. R. P. 265059) に屬し裸麥粒より按摩代用劑の製法は Max Hering の特許 (D. R. P. 266471) なり泡沫を生ぜざる剃鬚劑に J. Jellinek (Wien) の特許 (D. R. P. 264955) あり硼砂、ゼリン油エーテル及石鹼よりなれり F. Warns (Berlin) の剃鬚粉 Warmin は硫化ストロンチウム、硅藻土、澱粉及酸化亞鉛を含む。

此年度に於て肥滿劑は漸次減少し多くの脫脂劑を發現せり Kalle 社 (Biebrich) 製の Leptynol は流動パラフィン中羊毛脂水酸化パラデウムの膠様溶液にして腹壁脂中に注射す H. Müller 社 (Berlin) の Fucus 脫脂糖衣丸 Fucusa錠及 Richter 製の脫脂茶劑 Anticorpulin は海藻 (Fucus Vesiculosus) を含有す Goldeck 社 (Leipzig) の脫脂劑 Eusitin はシリン産 Althaea rosea の粘液物を含み飢渴を抑壓し得べし Algem. Brunnen 社 (Berlin) 製の Reaktol は脫脂劑にして主成分として芒硝の如き瀉下性鹽酸鹽を含有す P. Grundmann (Berlin) 製の Schlanciform はセンナ葉、大黃、無花果等の植物性下劑よりなれり

美顏劑は卵黃乳製品豆粉及其類似品或は美感の名稱を附せる有効ならざる香水液等よりなれり多汗防止劑に F. Grabow (Berlin) の Alkaliton あり着色芳香液にして醋酸エステル、醋酸、フォルムアルデヒド等を含有す

臓器剤及血清剤

臓器製品にては副腎及腦下垂體よりの物質第一位を占む然れども漸次合成品により代用せられつゝあり N-Alkarylverbindungen des P-Oxyphenyläthylamin の製法 (Roche: D. R. P. 259874) アミン類の還元による芳香族アミノアルコールの製法 (By: D. R. P. 254438, 256750) 5-(4)-Methylimidazol-4(5)-Carbonsäureäthylester の製法 (O. Gerngros: D. R. P. Ann G. 36148) 等あり又治療法的有用なる (β -Imidazolyläthylamin) を Ackermann 氏法により炭酸分解菌により製し Roche 社の特許 (D. R. P. 256116) に屬す腦下垂體越幾期よりの含窒化合物は有効にして Merck の特許 (D. R. P. 264119) なる

從來未知なる P-Oxyphenyläthylamin のエーテル化合物は實際に有用なる藥物的効果を示し其製法は Roche の特許 (D. R. P. 259193) なる

Höchst 色素製造所の Hypophysin は單一なる化合物にあらず子宮に對し腦下垂體越幾期の全作用を示すべき四物質よりなれり Aubing 化學製造所 (München) の Hypamin は腦下垂體越幾期にして獸醫治療に用ふ從來の腦下垂體製品の代りに L. Popielski は血壓昇騰劑として Vasohypertensin を提供せり本品は新鮮なる腦下垂體より製す Asthmolysin と副腎及腦下垂體越幾期の配合なり Anovarthyreoidin は Antimalazin の類似品にして甲状腺及卵巣を除去したる羊の血液より得たる製品なり

Paehl 製 Thymin は犢の胸腺よりの新劑にしてベセドー病及不眠症に用ふ M. Haas 社 (Berlin) の Glanduovin は卵巣よりの無蛋白浸出物なり Thyroprotein は甲状腺越幾期 Merck 製 Coeliacin は腸間膜質なり

血清療法の新製品にて特に醫學雜誌及日刊紙上に多見するは *Friedmann* 氏結核劑なり本品は結核及腺病の治療及豫防藥にして生活せる無毒性龜の結核菌より特種方法により製し多種の濃度に於て *Max Haase* 社 (Berlin) より發賣す *Piotrowsky* (Berlin) 製 *Chelonidia* は之れに類似の龜ツェンクリンにして同様に龜の結核菌より製す無毒性龜結核菌の 〇・七五% 食鹽液は同様に *Piotrowsky* より *Chelonisol* と稱し發賣す *Phthisanol* は人及牛の結核菌純粹培養により得べき無毒素性蛋白ツェンクリンなり *Molliment* は *Tebesapin* の類似品にして油酸曹達及無力性 *Persuchkeim* よりなり内用丸劑にして獨逸豫防治療血清會社 (Berlin) の製品なり他のツェンクリン代用品に *Tubolylin* あり *Sieber* 及 *Römer* 氏により高温及侵害藥を避け結核菌より製せらるる前處置されたる或は罹病せる動物の皮膚より結核病及蹄爪病に對する治療劑の製法は *Dr. Wilhelm Pondorf* の特許 (D. R. P. 265208) なり

Behring の新デフテリア豫防劑 *MMI* は解毒素をもてる強デフテリア毒の混合物なり。

Merck 製の *Antimalazin* は卵巢を除去したる羊より製し骨軟化症に用ふ

Park, Davis 社 *Phylacogen* は人工培養基上繁殖したる細菌の可溶性代謝性製品なり集成基礎的フキラコーゲンの外に痲疾、丹毒、リウマチス、肺炎等に對する特種品あり

Leukogen は葡萄狀球菌よりなるワクチンにして慢性及急性葡萄狀球菌病に用る *Gonargin* は痲菌培養基より製せるワクチンにして治痲に用ふ

複合水銀化合物溶液にてバクテリア或は動物毒の處置により傳染病に對する治療及豫防藥の製法は *W. Schranth* 及 *W. Schöeller* の特許 (D. R. P. Ann. Sch. 40884) なり石鹼或は多價アルコホルにて動物毒及細菌を熱することにより傳染病の豫防及治療劑並に前記の物質にて動物を處置す

ることにより豫防治療血清の製法は Schering の特許 (D. R. P. 254102) に屬す發病素或は其代謝製品より接種質製造の滲透法は W. Fornet (Berlin) の特許 (D. R. P. 264300) なる

特に膿赤痢に有効なる血清は M. Piorkowski の特許 (D. R. P. Ann. P. 27510) によつて馬に他の動物の血液中乳酸菌純粹培養物の注射により並に此等動物に培養物の飽給により製し得べし

其他特許法に次のものあり W. Penndorf (Weimar) の特許 (D. R. P. 265207) たる Pokken 及接種障害物に對する解毒素の製法 Salo Bergel (Hohensalza) の特許 (D. R. P. 259374) たる脂肪樣質に對する抗素の製法 P. Beiersdorf (Hamburg) の特許たる軟膏樣淋巴或は血清の製法 Kalle の特許 (D. R. P. Ann. K. 47750, 257977) の無毒性血清劑或は免疫性血清品の製法 E. Feichmann 及 H. Braun (Frankfurt a. M.) の特許 (D. R. P. 261516, 261517, 261518) たる睡眠病原蟲及他の原蟲性寄生物による感染病に對する持久性にして正確に投與し得る免疫製品の製法 Kalle の特許 (D. R. P. 254769) たる細菌より有効にして吸収し易き皮下注射接種物の製法等之れなり

Merck 製の瘡治療劑は種々の方法にてレントゲン線ラヂウム或はトリウムにて處理したる動物の内臓器を其動物の血清にて抽出することにより製す此療法により動物體中に免疫物を生ず本品は同社の許特 (D. R. P. Ann. M. 46525, 46745, 47848, D. R. P. 257473, 257474, 262157) なり

ラヂウム劑及其類似製品

新癰療法中明かに放線治療は其首位にあり殊にラヂウム及メントリウムは醫學雜誌及文献中に喋々として叙述せられたる以來多數の國立及市立病院は其製品の購求を決定せりエオシン色素、銅、コバルト、銀及他の金屬製品にて悪性腫瘍の化學療法は放線療法に反し衰微しつゝあり何となれば此等化學療法は供試程度に進歩せず又今迄の業績は大抵鼠の如き處置されたる動物に限定せらる

ゝなり故女子生殖器の腫瘍はラヂウム、メントリウム、レントゲン線の放射により其發育を抑制し又更に進んで消退壞敗し得ることは如何なる場合にも確實なるものとして承認せらるゝに至れり其治療効果の持續につきてはサルバルサンと同様に其觀察未だ短日月なるが故に確言する能はず其適用法、使用濃度特に最良の濾過法に就て尙未だ不明の點多し其價格は極めて高くメントリウムの如きは1mgにつき二百マルクなり而かも一治療量少くとも二百mgを要す加ふるに手術に多くの時間を消費するが故に此療法は一部人士の患者に限定せらるゝなり

Fr. Ebler (Heidelberg) のラヂウム劑用法は特許 (D. R. P. Ann. E. 17493) にして乾燥したる膠樣物特に硅酸のその如き大表面をもてる物質にエマナチンを吸収せしむるにあり固形ラヂウムの治療有用なる化合物の製法には Merck 及 W. Eichholz (Darmstadt) の特許 (D. R. P. 256666) を参照せよ新ラヂウム劑に次のものあり Radiocarbon は放射性性酵素炭 Radropan は放射性性麩包 Radiopyrin は放射性性アセチルサリチル酸 Thorradix は放射性性トリウム劑 Radiorex は耐久性ラヂウム劑等之れなり

雜劑

例年の如く通經劑婦人病劑生殖器病劑避妊劑並に生殖器性傳染病豫防劑の多數あり此方面に關し官廳が種々に監督したるにも係らず尙民間に於ける該疾病者甚だ多く且つ民力が無恥なる男女の勞働者により甚しく害せられたり勿論斯くの如き社會の欠陥に對し法律の制裁を以て改革せんとする計畫は熟知せらるゝことなれども實際の結果につきては多く見るを得ざりき今や清涼劑は日刊新聞上に於て漸次擴布せられ又各藥局に於て買ひ得べき藥品を成分とせる家庭藥の適當なる處方の現出を見るに至れり然れども實際に大なる廣告を以て販賣せらるゝ祕密藥の多くは外國會社

に屬せり例へば Tokalon 製造會社の如き之れなり今茲に二三の製品を畧記せん
 Livola de Composé は洗毛劑にしてサリチール酸溶液にベールラム及メントールを混ぜり
 doxin は硼砂酸化亞鉛にグリセリンを含める着色薔薇水なり Extrakt Petalies 芳香液 Parinol-wachs
 は亞鉛軟膏 Boranium, beeren はフェノールフタレインを含める果實ボンボン Salrado Compound
 は鑛酸鹽類及植物性下劑の混合物 dreifach Konzentrierter Ansy はクレオソート及メントールを酒
 精及水に溶解したるものなり之等の藥品の何れも比較的高價なるは明かに一方に大なる廣告をな
 せるによるべし(完)

○滿洲產鶏卵に就て

藥學得業士 加藤精一郎

滿洲產鶏卵に就きて世上其の滋養分に付き大に疑問を生じ兎角の議論あるを免かれず故に彼我の
 成分を檢定して比較検査することは衛生上缺ぐ可からざる緊急の事に屬すも余の今回試験の旨趣
 は化學的成分の定量と理化學的試験比重每一個の重量内容卵白卵黃卵殼重量等を二十三種に就き
 て検査せるに過ぎず尙詳細なる検査は他日に譲る事とせり

鶏卵の理學的試験一表

種	類	比	重	重	每一個ノ	每一個ノ重量内譯				内容百分中	
						殻を去り	卵白量	卵黃量	卵殼	に於ける	に於ける
奉天產					量	たるもの				卵白量	卵黃量
白玉ノ一號			一・〇八七四	四六・七二		四〇・二七	二四・三八	一六・二二	五・三四	六〇・〇一	三八・九七